

【学力向上フロンティアスクール中間報告書】

都道府県名	静岡県
-------	-----

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	富士川町立第二小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	2	2	2	2	3	0	13	19
児童数	70	73	68	58	76	83	0	428	

実践研究の概要

1. 研究主題

共にかかわり高まる授業 ～確かな学力を求めて～
・少人数指導における指導方法・指導体制の工夫・改善

2. 研究内容と方法

(1)実施学年・教科

全学年・算数

・理解度の個人差が生じやすい教科であり、指導内容が系統的であるため、少人数指導を進めていく上で、指導方法・指導体制の研究に適していると考えたため。

(2)年次ごとの計画

平成14年度	<p>テーマ 少人数指導における指導方法・指導体制の工夫 仮説 少人数指導を進めることで、指導方法・指導体制の課題が明確になる。 研究内容・方法 ・子供理解（座席表の活用・着目児の設定）窓口教科の設定（算数） ・問題解決的な学習（学習問題の設定・授業の振り返りの充実） ・少人数指導を進める上での指導方法・指導体制の課題の明確化。</p>
--------	---

平成15年度	<p>テーマ 少人数指導における指導方法・指導体制の工夫・改善 仮説 学習集団の在り方を検証することで、よりよい指導方法・指導体制が生まれる。 研究内容・方法 ・子供理解・問題解決的な学習・学力の評価方法 ・指導方法・指導体制の工夫（個の実態把握の方法・学習集団編成のねらいと方法・学習集団決定の手段・学習集団の質のちがひ）</p>
--------	--

平成16年度	<p>テーマ 少人数指導における指導方法・指導体制の工夫・改善と評価 仮説 確かな学力の具体を探り、評価の在り方を検証することで、指導方法・指導体制の成果が明確になる。 研究内容・方法 ・子供理解・指導方法の工夫・基礎技能の定着 ・指導方法・指導体制の工夫 （学力の評価と指導との関連・他教科への波及・成果のまとめ） ・取組成果の発信（授業公開・HP開設）</p>
--------	--

(3) 研究体制

- ・ 企画委員会（校長・教頭・教務・研修主任）
↓ * 重点目標と研究テーマの融合を図り、学校体制の基盤を作る。
- ・ 研修推進委員会（各学年の研修推進委員）
* 研修推進の母体となり、企画運営をする。
- ・ 各学年部 * 研修推進委員と連携を図りながら具体的な実践を行う。

平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

- ・ それぞれのコースに応じた課題提示や教師の支援などの工夫により、それぞれのコースで自分に合った学習が展開されるため、子供の意欲が高まり、学習に対して主体的な取組を見せる子供が増えた。
- ・ 基礎技能定着の取組により、算数の「表現・処理」の力が向上し、また、読書が好きな子供が増えている。
- ・ コースの自己選択の継続により、自分に合ったコースを選ぶ力が育ってきている。
- ・ 学年教員集団の協同体制が進み、子供理解や教材研究が深まり、子供の目線に立った授業をするための教師の願いや手立てが具体的になった。
私たち教師がつけた力の一つです。
- ・ 積極的な授業公開やコース選択の際の学校からの働きかけなどにより、少人数指導について、多くの保護者の理解を得ている。

2. 今後の課題

- ・ 算数を窓口教科として研究を進めてきたが、この研究成果を他教科に波及させること。
- ・ 個の学びを大事にした少人数指導のよさを原級での指導に生かすこと。
- ・ コース設定に多様性をもたせ、単元の中でのコース再編成などに教師が柔軟な構えをもつこと。
- ・ 「学びの力」評価基準の共有化を図ること。
- ・ 「表現・処理」から「考え方」へ、子供たちの思考力を育てること。

. 学力把握のための学校としての取組

- ・ 定着度調査の比較検討・単元終了時の学力調査・漢字や計算等の小テストの継続的な実施。
- ・ 子供の学びの様子を座席表等に記入し、その記録の集積と分析を行う。
- ・ 子供の実態把握のために、単元前にレディネステストを実施する。
- ・ 授業の終末に本時を振り返る時間を設定し、振り返りカード等に記入させることで、学力の定着を見取る。

. フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- ・ 中間発表の取組をリーフレットにまとめ、各家庭に配布する。
- ・ 16年度校内研修における、中心授業に他校からの参観者を受け入れ、本校の組を公開していく。
- ・ HP開設準備中 <http://web.thn.jp/fujikawa2-syo/>
- ・ E-mail fujikawa2-e2@thn.ne.jp

~~~~~  
【新規・継続校】 15年度からの新規校  14年度からの継続校

【学校規模】 6学級以下 7～12学級  
 13～18学級 19～24学級  
25学級以上

【指導体制】  少人数指導  T・Tによる指導  
一部教科担任制 その他

【研究教科】 国語 社会  算数 理科  
生活 音楽 図画工作 家庭

【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】  有 無